

第2回 男子U16 アジアカップ (ユースオリンピックアジア予選会)
4月4日～4月7日 シンガポール Sengkang Hockey Stadium

Aプール 日本、チャイニーズタイペイ、中国、スリランカ、パキスタン

Bプール シンガポール、バングラディッシュ、マレーシア、カザフスタン、韓国

この大会は「Hockey 5」という新しいルールスタイルで競技実施される。「Hockey 5」は2014年のユースオリンピックで採用されることとなっており、このアジア予選が世界で最初の「Hockey 5」競技実施大会となる。

11人制のコートの一部を使用し、各チームGKを含み5人のプレイヤーで対戦する。11人制のルールをできるだけ簡素化し、誰でも簡単に取り組めるよう、工夫されている。

試合時間は、1ピリオド 12分、3分の休憩、2ピリオド 12分、3分の休憩、3ピリオド 12分で戦う。

4月4日 9:00 vs チャイニーズタイペイ

日本 10-5 (5-1、2-2、3-2) チャイニーズタイペイ

日本のスターティングメンバーは、

渡辺、田辺、池田、小林、野村

第1ピリオド、立ち上がり3分で先制されると、その直後に、野村が得点。同点に追いつくと、リズムをつかんだ日本のゴールラッシュ。

3分 野村 田辺の打ち込んだボールのリバウンド
5分 加藤 フリーシュート
6分 野原 回り込みプッシュシュート
9分 田辺 加藤が持ち込みパスを受けシュート
11分 小林 リバウンドを決める

第2ピリオドに入ると、一進一退の攻防が続く、

5分 野原 正面からフリーシュート
6分 失点
8分 池田 池田-小林-池田と右展開から繋ぎ、折り返しをプッシュシュート
11分 失点
徐々に疲れが見え始め、動きが悪くなる。

第3ピリオドは、立ち上がり2分で失点。

4分 野村 フリーシュート
6分 加藤 右から回り込みプッシュシュート
11分 野村 フリーシュート

しかし、終了間際の12分に失点し、試合は終了。

随所にGK渡辺が好セーブを見せ、相手のシュートを防いでいた。